

第2期四国中央市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

1. 国と市の総合戦略について

◆四国中央市第2期総合戦略の基本的考え方

- 国の第1期の基本目標を継続し、これまでの取り組みをさらに充実・継続していく。
- 新たな技術などの新たな視点を取り入れる。
- 市全体で人口減少についての危機意識を共有し、人口減少抑制につなげる。
- 持続可能なまちづくりのため、市民・議会・市が手を取り合い、市民一人ひとりのしあわせづくりを応援するまちづくりを展開する。



◇国の第1期総合戦略における基本目標

- (1) 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする。
- (2) 地方への新しいひとの流れをつくる。
- (3) 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。
- (4) 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしをまもるとともに地域と地域を連携する。



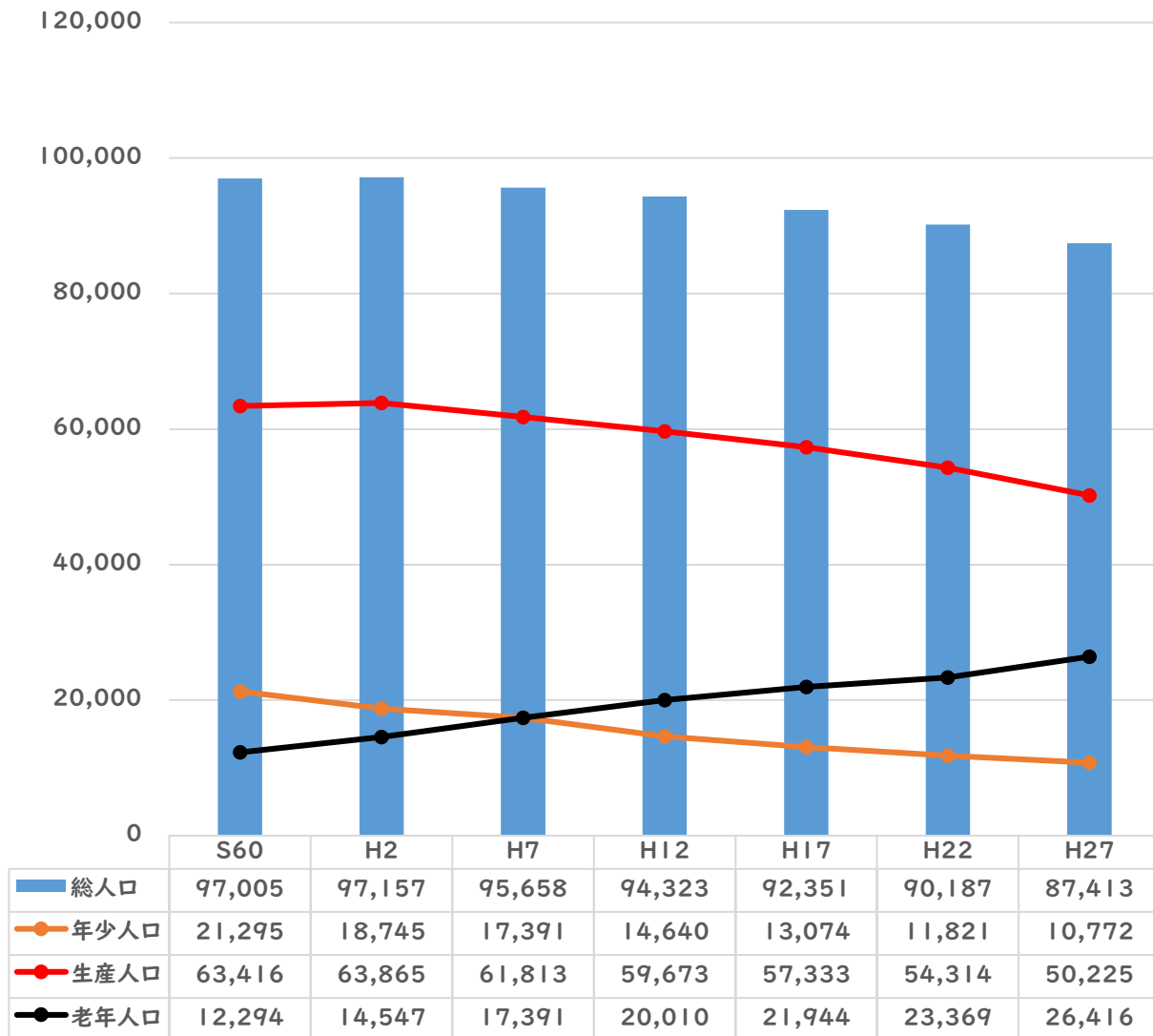
◇国の第2期総合戦略における新たな視点

- (1) 地方へのひと・資金の流れを強化する
 - ↳ ひととは関係人口の創出、資金は企業版や一般のふるさと納税の推進
- (2) 新しい時代の流れを力にする
 - ↳ 事業計画時にSDGsの観点を導入、RPAやIoTなどの新たな技術を導入した行政運営
- (3) 人材を育て活かす
 - ↳ 地元で愛着を持つ人材の育成、子育て支援の人材確保
- (4) 民間と協働する
 - ↳ 法皇青年会議所との協定、あったかしこちゅ〜事業賛同企業
- (5) 誰もが活躍できる地域社会をつくる
 - ↳ 高齢者、女性、障がい者、外国人などが居場所を持ち、活躍できる社会の実現

2. 第2期四国中央市人口ビジョン策定時の人口等データの特徴

四国中央市人口推移

(単位:人)



(人口関連)

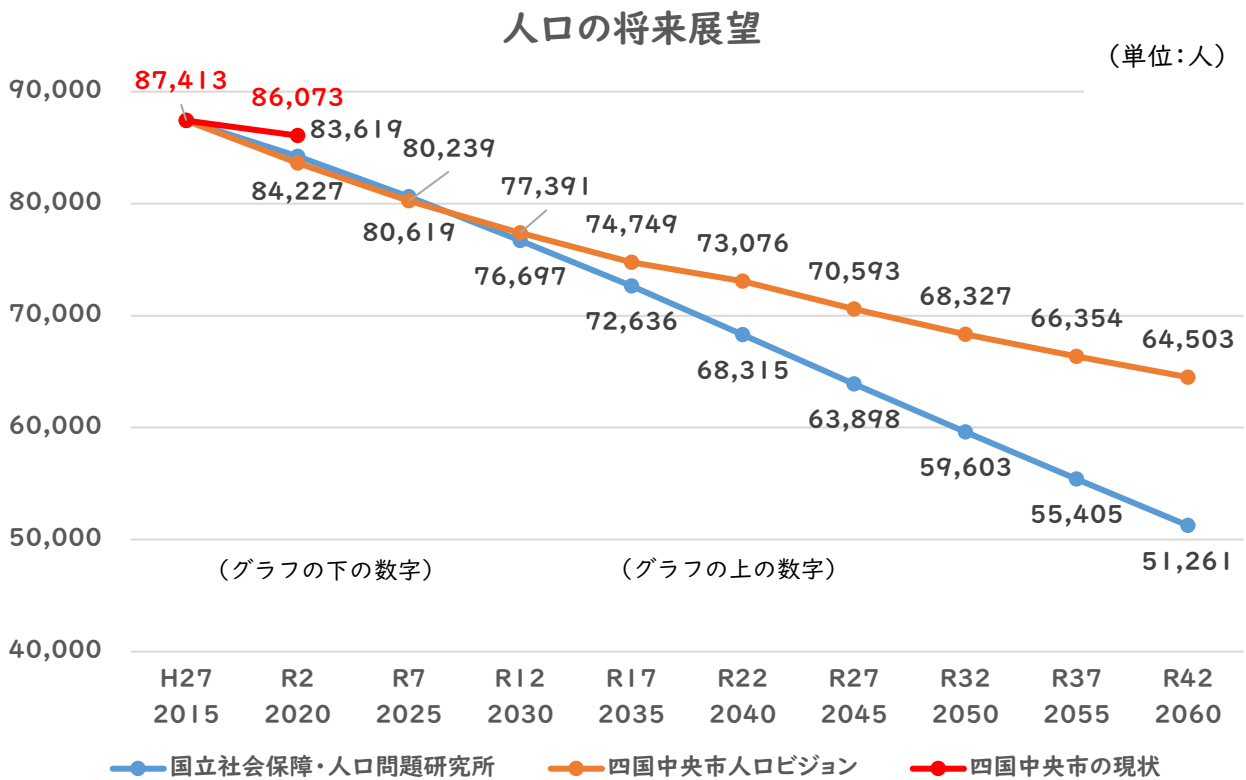
- ・総人口は、平成2年をピークに減少。
- ・生産年齢人口・年少人口は年々減少、老年人口は増加。
- ・平成25年から平成29年までの平均値で、毎年、自然減 約420人・社会減 約230人。
- ・合計特殊出生率は1.57、全国(1.42)・県(1.46)より高い。
- ・未婚率は、22.4%、全国(26.6%)・県(23.8%)より低い。
- ・平均寿命は、男女とも延びている。

(産業関連)

- ・市内就業者は、男女とも製造業の占める割合が多い。女性の医療・福祉への就業率が高い。
- ・女性の労働力率は、前回よりすべての年代において伸びている。

3. 第2期四国中央市まち・ひと・しごと総合戦略の概要

(1) 目標人口 令和42年(2060)の人口 65,000人



国立社会保障・人口問題研究所の推計では令和42年の当市の人口は約51,000人の見通しであり、この人口減少を緩やかにし、令和42年の人口を 65,000人 とすることを目指す。この数値は、第1次の目標値設定時から大きな社会情勢の変更がないため据え置きとした。

2020年時点で、現状の人口が国立社会保障・人口問題研究所の推計と四国中央市人口ビジョンを上回っており、人口減少が予想よりも緩やかになっているが、社会・自然動態とも減少傾向であるため、引き続き対策を行う必要がある。

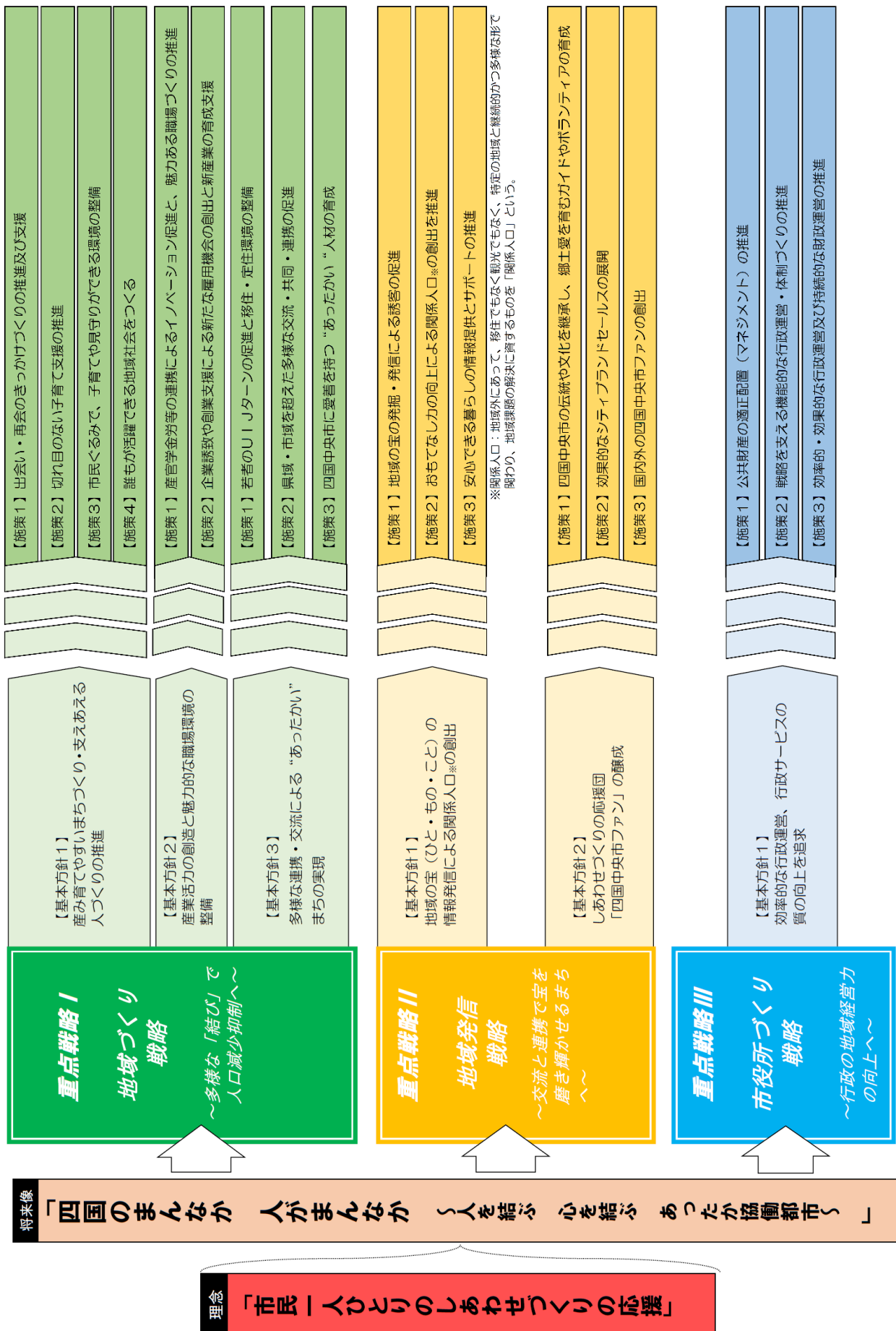
(2) 総合戦略の期間 令和2年度から令和4年度まで

四国中央市総合計画と総合戦略がこれまで以上に連携し、事業をより効果的に推進していくために、次期の策定を一緒に行うことを想定し、第2次総合計画と終了時期をあわせ、3年間の期間としている。

(3) 総合戦略の体系

別紙参照

第2期四国中央市総合戦略 体系図



令和2年度の地方創生推進交付金事業など

1. あったかしこちゅ〜事業

東京や大阪で開催している「企業と若者の交流会」、関西圏や松山の若者を対象にした「魅力体験バスツアー」は新型コロナウイルスの影響により中止し、代替事業として「2021年新卒者対象オンライン企業合同説明会」を6月20日に開催した。また、2月には松山市で「若者と企業の交流会」を開催予定である。新型コロナウイルスの感染状況により開催出来ない場合は、オンラインで実施予定である。

人事担当者や女性社員によるパネルディスカッションのYouTubeライブ配信などを行い、市内企業のPRを行っていききたい。

2. 地域産業人材定着事業

(1) 高校生への紙産業PR事業(主催:紙パルプ工業会 共催:四国中央市)

市内3校において、高校生向けの紙産業PR資料による講座や企業見学等を行い、地域産業の理解の浸透を図るとともに、将来の就職先として市内企業を身近に知る機会を設けている。

三島高校が10月、川之江・土居高校は12月に企業見学を実施予定である。

(2) ものづくり体験講座(主催:紙パルプ工業会 共催:四国中央市)

中学生を対象に、ものづくり講座・体験講座・工場見学・ワークショップ・発表会などを行い、紙産業の一連の仕組みを体験学習することで、紙産業に対する職業観の醸成を図る。

今年度は、川之江北・川之江南・三島南中学校において、9月から12月にかけて実施している。

3. 地域おこし協力隊事業

新宮において新宮茶のPR・ブランディングを任務とする協力隊員を、また金砂・富郷においては、林業を任務とする協力隊員をそれぞれ1名継続募集している。

4. 移住相談

7月からオンライン相談により実施している。

5. 移住者向けポータルサイト「四国まんなか生活」

各種支援策やあったかしこちゅ〜事業の賛同企業情報、市内の出来事などを随時発信している。

6. 山間部空家バンク

移住検討者から問合せの多い山間部の空き家情報の集約作業を実施する予定である。